

第61回全日本こけしコンクール開催要綱

1. 目的 全国のこけしを広く紹介宣伝し、こけしの美の鑑賞とその認識を更に深めるとともに、工芸品としての優れた品質意匠および技術の向上を図り、観光工芸産業の振興発展に寄与することを目的とする。
2. 名称 第61回全日本こけしコンクール
3. 主催 宮城県・白石市・白石商工会議所
4. 後援 経済産業省・農林水産省・国土交通省・文化庁・中小企業庁・観光庁・
(予定) 東北経済産業局・東北運輸局・日本商工会議所・青森県・秋田県・岩手県・山形県・福島県・群馬県・東日本旅客鉄道(株)仙台支社・仙台市・河北新報社・朝日新聞仙台総局・毎日新聞仙台支局・読売新聞東北総局・産経新聞社東北総局・NHK仙台放送局・TBC東北放送・仙台放送・ミヤギテレビ・KHB東日本放送・エフエム仙台・一般社団法人白石市観光協会・弥治郎こけし業協同組合
5. 会場 白石市文化体育活動センター（ホワイトキューブ）
6. 会期 平成31年5月3日（金）～5日（日）の3日間
7. 部門 第1部 伝統こけし（系統的な伝統性があり師弟関係が明確であるものかつ、その工人が製作した本人型も含む）
第2部 新型こけし（量産可能で市場性のあるもの）
第3部 創作こけし（一品製作芸術的価値のあるもの）
第4部 木地玩具（ロクロ技術を主体とした玩具）
第5部 応用木製品（ロクロ技術を主体とした日常生活用品や木製品）
なお、審査の際は、第1部（伝統こけし）及び第4部（木地玩具）をAブロック、第2部（新型こけし）、第3部（創作こけし）及び第5部（応用木製品）をBブロックとし、A・Bブロックに分割して審査を行う。
8. 出品 1) 出品資格 現在こけしを製作している工人並びにロクロ応用品製作者で、全日本こけしコンクールの「無審査工人」及び「名人」となった工人を除く。ただし、無審査工人については、本人の意志により審査の対象作品として出品することができる。
2) 出品作品 作品は木製を主体として、ロクロ応用により製作した自己作品に限る。なお、各部に規定する作品として認められない作品については、審査会の判断により除外されることもある。（作品には必ず価格を表示すること。）

- 3) 出品期限 平成31年3月29日(金)
所定の申込書に所要事項を明記の上、出品作品に添えて事務局に申し込むこと。
- 4) 出品料 無料
- 5) 出品点数 一人一部門につき10点以内(第1部については同一作品を出品することはできない)。
- 6) 題名・出品者の明示 出品作品の裏面並びに箱には、題名・出品者名を明記した紙片を貼付すること。
- 7) 搬入場所 全日本こけしコンクール事務局
(白石市市民経済部商工観光課内)
〒989-0292
宮城県白石市大手町1番1号
TEL 0224-22-1321
FAX 0224-22-1451
- 8) 搬入及び送料 搬入に要する経費は出品者負担とする。
荷造り外装に「全日本こけしコンクール作品」と朱書すること。
- 9) 出品作品の受理保管 受理保管中の作品は主催者が良心的にその責を負う。ただし、天災その他不可抗力によって生じた損害についてはその責を負わない。

9. 審査期日 平成31年4月25日(木)

10. 審査委員会顧問 白石こけし会会長 後藤 昭 信

11. 審査委員 (予定)

経済産業省製造産業局生活製品課企画官	栗田 豊 滋
特許庁審査第一部生活・流通意匠審査長	北代 真 一
東北経済産業局長	相 樂 希 美
東北運輸局長	吉 田 耕一郎
東北森林管理局長	小 島 孝 文
群馬県産業経済部観光局観光物産課長	佐 藤 武 夫
東日本旅客鉄道(株)執行役員仙台支社長	坂 井 究
(公社)宮城県物産振興協会会長	吉 田 久 武
東北工業大学COC推進室プロデューサー	佐 藤 明
元仙台市博物館館長	東海林 恒 英

東京こけし友の会会長	平塚俊夫
秋田県こけし会会長	京野進
青葉こけし会会長	齋藤友孝
前（公財）白石市文化体育振興財団理事長	吉田清幸
前全日本こけしコンクール事務局	永山美智子

12. 審査規定 第1条 審査は意匠、品質、内容、価格、その他を基準とし、Aブロック {第1部伝統こけし・第4部木地玩具} 及びBブロック {第2部 新型こけし・第3部創作こけし・第5部応用木製品} に分割し 審査を行う。

第2条 審査は第1次審査、第2次審査及び最終審査とする。

第3条 第1次審査は全作品について適格であるか審査する。

第4条 第2次審査は第1次審査に合格した作品のうちから委員の投票 によって選抜した授賞候補作品を決定する。

第5条 最終審査は第2次審査により授賞候補作品について全委員合議 により授賞作品を決定する。

第6条 内閣総理大臣賞については全作品の最優秀作品とする。なお、 経済産業大臣賞、農林水産大臣賞、国土交通大臣賞、文部科学 大臣賞、中小企業庁長官賞、林野庁長官賞、経済産業省製造産 業局長賞及び観光庁長官賞についてはA・B各ブロックの優秀作 品に対しそれぞれ1点とする。

第7条 審査委員会顧問及び審査委員は学識経験者並びに後援者の中か ら会長が委嘱する。

第8条 審査委員会顧問は審査委員会の運営について助言し、授賞式に おいて審査講評を行う。審査委員は審査委員会を構成し、A・ Bブロックのいずれかに編入されるものとする。

第9条 審査委員会の運営は委員の互選により委員長1名を定め、その 指示によって行う。

第10条 審査は非公開によってこれを行う。

第11条 この規定に定めのない必要な事項は審査委員会と主催者によっ て決定する。

13. 無審査工人 第1部の伝統こけし各系統の工人のうち、多年にわたり研さんを重ねた 優秀な工人を会長が推戴する。

14. 名 人 全日本こけしコンクールにおいて内閣総理大臣賞を3回受賞した工人を 会長が推戴する。

15. 授 賞 審査の結果優秀なものに賞状並びに副賞を贈呈する。

(予定)	内閣総理大臣賞	1点	前橋市長賞	1点
	経済産業大臣賞	2点	福島市長賞	1点
	農林水産大臣賞	2点	山形市長賞	1点
	国土交通大臣賞	2点	仙台商工会議所会頭賞	1点
	文部科学大臣賞	2点	小田原箱根商工会議所会頭賞	1点
	中小企業庁長官賞	2点	前橋商工会議所会頭賞	1点
	林野庁長官賞	2点	福島商工会議所会頭賞	1点
	経済産業省製造産業局長賞	2点	山形商工会議所会頭賞	1点
	観光庁長官賞	2点	米沢商工会議所会頭賞	1点
	東北経済産業局長賞	1点	河北新報社賞	1点
	東北森林管理局長賞	1点	朝日新聞仙台総局賞	1点
	東北運輸局長賞	1点	毎日新聞仙台支局長賞	1点
	宮城県知事賞	2点	読売新聞社賞	1点
	東日本旅客鉄道賞	2点	産経新聞社賞	1点
	全日本こけしコンクール会長賞	2点	東北放送賞	1点
	日本商工会議所会頭賞	1点	仙台放送賞	1点
	群馬県知事賞	1点	宮城テレビ放送賞	1点
	福島県知事賞	1点	東日本放送賞	1点
	山形県知事賞	1点	エフエム仙台賞	1点
	岩手県知事賞	1点	NHK仙台放送局長賞	1点
	秋田県知事賞	1点	七十七銀行賞	1点
	青森県知事賞	1点	仙南信用金庫賞	1点
	仙台市長賞	1点	仙台銀行賞	1点
	札幌市長賞	1点	東北電力賞	1点
	登別市長賞	1点	白石商工会議所会頭賞	1点
	海老名市長賞	1点	(一社) 白石市観光協会会長賞	1点
	小田原市長賞	1点		

16. 授 賞 式 平成31年5月24日(金) 13時30分(白石市文化体育活動センター)

17. 賞 金 賞金については、主催者である白石市が贈呈する。ただし、東日本旅客鉄道賞を除く。

内閣総理大臣賞	30万円(1点)
経済産業大臣賞	10万円(2点)
農林水産大臣賞	10万円(2点)

国土交通大臣賞	10万円(2点)
文部科学大臣賞	10万円(2点)
中小企業庁長官賞	5万円(2点)
林野庁長官賞	5万円(2点)
経済産業省製造産業局長賞	5万円(2点)
観光庁長官賞	5万円(2点)
東北経済産業局長賞	5万円(1点)
東北運輸局長賞	5万円(1点)
東北森林管理局長賞	5万円(1点)
宮城県知事賞	5万円(2点)
東日本旅客鉄道賞	5万円(2点)
全日本こけしコンクール会長賞	5万円(2点)

なお、「名人」に推戴した工人に対しては、その栄誉を讃え100万円を贈呈する。

18. 寄 贈 上記授賞作品については永年保存することとし、一般に公開するなどを行うため白石市に寄贈願うものとする。
19. 搬 出 搬出に要する費用は主催者負担とする。また、出品作品は本コンクール終了後速やかに返送する。
20. 撮 影 模 写 写真撮影については特に制限をしない。ただし、撮影した写真を加工し商業的に利用することを禁止する。
21. そ の 他 本要綱に定めるもののほか、必要な事項は会長が別に定める。